

庁内協力制度「たすけあい+」の実証実験を開始 ～やってみたいを気楽に、助け合いを気軽に～

職員が所属の枠組みを超えてお互いに協力し合うことを推進する制度「たすけあい+」の実証実験を行っています。将来的に職員数の減少が見込まれる中で、組織における働き方の柔軟性や業務の生産性を高め、住民サービスの向上に繋げることを目指します。

なお、この活動は、有志の若手・中堅職員で構成し、これからの市役所のあり方を考える「ミライズWG（ワーキンググループ）」が中心となって取り組んでいます。

1 概要

「たすけあい+」は、職員が所属を超えて協力し合う制度です。繁忙期における業務量の平準化に留まらず、個々の職員が有する能力の相互活用や、学びやスキルアップの機会を提供し合います。

2 対象

全所属の正規職員（消防職員、技能労務職、保育士は除く）

3 実証期間

7月1日から令和7年3月31日（9カ月間）

4 制度イメージ

別紙モデルケース参照

5 活用例

- ・市民サービスへの従事（窓口業務の応援など）
- ・趣味や特技を生かした業務（写真コンテストの展示作業など）
- ・企画立案業務（計画書やパンフレット作成など）

※上記は、昨年度の実証実験（令和5年11月末から令和6年2月までの約3カ月間）で、実際に依頼及び応募があった業務です

担 当 情報政策課 DX-WG 推進室
電 話 027-898-5883（内線：4113）

スローシティ写真コンテスト投稿写真の展示事業（概要）

依頼所属



- ・ 3度目の展示なので、新しい**アイデア不足**
- ・ 装飾作業の**人手不足**

スローシティ写真コンテストで
集まった写真の展示準備を依頼

依頼



応募者



- ・ 展示方法の新たなアイデア出し
- ・ 展示に必要な材料集めや飾りつけの準備

自分の経験やスキルの活用希望、
業務への興味等による応募

スローシティ写真コンテスト投稿写真の展示事業（効果）

依頼所属

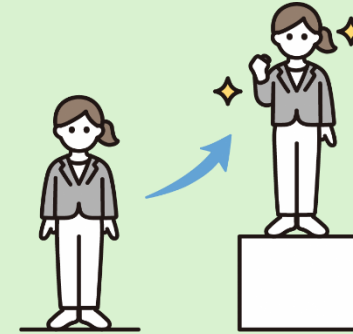


- ・ **業務時間が減る**
- ・ 様々な人とアイデアを**相談しながら進めることができる**
- ・ **スローシティに関心を持つ人が増える**

効果



参加者



- ・ 自分の持っている**知識やスキルを活かせる**
- ・ いつもと**違う業務を経験**することができる
- ・ **人脈が広がる**